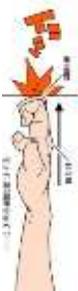




○ 優秀賞

1年 いつからだろう。人差指の第一関節を使ってエレベーターのボタンを押すようになってのは……。



2年 好きだよ」その一言で、私の人生は暗闇へと入っていった。



3年 あなたは目の前に大嫌いな人間が倒れていたらどうしますか。



3年 この世から子音がなくなったら、人はどう会話するのかな。



□ 司書賞

1年 激しく降る大雨の中に私は一人歩いていた。…… 暖かい」



1年 二十年前、あなたは炎の中で私を外になげ、あなただけ炎の中で幸せになったよね。

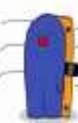


2年 初夏の晴れた昼下がりに私は生まれたと聞きました。

母親のよるこび様は大変だったと聞きました。



2年 黒板消しをそうじする彼は、ゆれていた。



2年 私は、その女の顔を見たことがある。



3年 土葬は嫌だが、マントルまですぐれば火葬になるのでは—— どうしきえが私の頭で鳴りました。



ここからは、つい司書がツッコミを入れたくなった作品たちです。



おじいちゃんは「この本を読み終わったら、わしは死ぬ」と病室でつぶやいた。おじいちゃんの手には読むのに50年くらいかかるであろうおそろしく分厚い本があった。



祖父ジヨークー！

「コント」 友達からのLINE Eだろつか。否、これは推しの為の課金が完了した音である。



ピコン♪今日も平和そうで何よりです。

ピンポンダッシュしているワバーイーツの人に声をかけてから、私の災難は始まった。



絶対ピンポンダッシュされるやつやん

カエルがバタフライしていた。

見なかったことにしてあげよ



惜しくも、この書き出し小説が、最優秀賞に選ばれることはなかったのだ。



あ、うん。一次通過でした。

オクラとバラとサボテン。今年これがあればいける……。



去年のも気になる(」」(3」

世の中は「定理」であふれているが、僕と君から恋の定理は求められない……だろう。

恋の定理はまだ見つかっていないのだよ



僕は好きな子に「かたじけなく似てる」と言われてとてもうれしかった。

話せるだけで嬉しすぎるよ



リーゼント△アーはしょんぼりしていた。

優勝です。



僕はトイレから出ると、オレンジ色のアフロ頭で、語尾に「だぜ」を付ける男にインタビューされた。

情報量が多すぎる(」(」



私の鼻には、洗濯バサミがはさんであり、耳からは長い毛がはえていた。



どんな状況(」(」

ゆけすピ「太郎」 おれは強くなるために旅に出た。



ピカチウぐれちゃうよ

あれ取って」と僕がリモコンを指すと、母はテレビから今やっていた歌番組の字幕を取り出した。

母、能力者やん



真っ赤な空、周りの人々は騒ぎだす、じきにほろびだそうこの世界で僕は友人を脱出ポットに押しこんでこう言った。悪いなのび太、この脱出ポットは四人用なんだ」

映画のジャイアンちゃん。出来杉くんは、ど……



おお、友よ

ある日、親にはれないようにゲームをしているとき、だれかが歩いてくる足音が聞こえてきた。

いや、親やろ



三十年ぶりのクリスマス、三十センチ定規をもらった。

1年で1cmずつ刻んできたんだよね。メリーリースマス☆

